

# 党市議会議員 南畑さち代



6日、水道事業の民営化を盛り込んだ水道法が、十分な審議が行われることなく強行的に採決されました。公共施設の運営権を民間企業に一定期間売却する「コンセッション方式」の導入を自治体の水道事業でも促進させるものです。これまでに「水道を計画的に整備し、水道事業を保護育成する」という法の目的を「水道の基盤を強化する」事に変更、コンセッション方式の導入などの民営化と水道事業を統合する広域化を柱としています。法の成立を待たずに、国が公募したコンセッション導入の可能性を調査する「上下水道一体の事業診断による経営の効率化促進事業」に和歌山市は応募し、調査費用全額補助の支援をうけ現在調査中とな

## 水道は福祉 民営化を許さない取り組みを！

### 水道事業を考へる

県会議員 奥村のり子 の  
**赤旗** 読者ニュース  
 2019年3月3日 第348号  
 —奥村のり子生活相談所—  
 〒640-8212 和歌山市杉ノ馬場 1-11  
 ☎ & F A X 073-427-7121  
 Eメール w-jcpen@naxnet.or.jp

レポート

Relay talk

Relaytalk

寒さも和らぎ、いよいよ今月末から県議選が始まります。今、2月定例会が開かれ、来年度の予算案の審議が始まっています。県は未来を担う子供への投資は何よりも充実しなければならぬといつて、全国に先駆け、IC教育をすべての学校で実施、不登校児童生徒へのIC活用した学習支援、IC企業やIRの誘致、施設園芸ハウスのIC技術の導入などICによる新政策が目立っています。当初予算の一般会計は5,530億円余となっており、県民の切実な願いである国保料・介護保険料などの軽減

## 目立つICT政策の導入 切実な願い実現はなし

策はありません。子どもの医療費窓口負担も従来のままです。10月からの消費税増税が前提となっているため条例の改定も目白押しです。県民のいのちと暮らしを守る議席がますます必要です。  
 みなさん、ぜひ、ご家族・友人・知人にご支援を広げてください。よろしくお願います。  
 (奥村のり子)



講師は自治労連公営企業評議会  
議長 植本眞司氏

つています。結果はまだ出されていませんが、今後市としてどう判断していくのか。民営化されたパリでは水道料金が倍以上に跳ね上がり、サービスは悪くなる一方、財政は不透明と市民の不満は爆発寸前となり再公営化となりました。水道は福祉です。命の水を商品として営利目的の民営化はするべきではありません。2月議会はこの問題で一般質問します。  
 今年2月2日、日本共産党市議団主催で水道の民営化について学習会を開催しました(写真)。今後、市議団としてしっかりと取り組んで行かねばと思っています。

Relay talk      リレートーク      Relaytalk



先日雄湊地区で10か所くらいのハンドマイク宣伝しました。応援頂きありがとうございました。

**3月3日演説会**  
**「こぞつてお越しを**  
**告示まで26日!**

**わかやまの**  
**暗い政治を**  
**変えよう**

寒い寒いと口癖でしたが、もうすぐ3月を迎え少しは暖かい感じもする日々ですが、和歌山の政治情勢は寒い話ばかりです。  
 2月18日の読売新聞の社会面の半分近くのスペースで県議会の自民党メンバーが県民の税金を使って海外視察し、その報告のずさんさが他県と比べてずば抜けていたニュースは、その後テレビでも何度も話題になりました。そうかと思うと自民党の田畑毅と言う衆院議員が女性暴行容疑で離党届だけなのを羨ましい。この議員の親分は和歌山県選出の二階幹事長です。二階氏は派閥の会議で「責任者として誠に申し訳なく思っている」と述べると、同じ派閥の伊吹文明元文科相・元衆院議長が「問題にならないようにやらない

と駄目だ」と、「問題代にならなければやっていい」といわんばかりの論理や性犯罪への認識欠如ぶりです。  
 本人は謝罪もなし辞職なしの離党だけで頑張るみたいだ。ほかにも過去に暴言大臣もあつたり、自民党幹事長の居る和歌山県の自民党はどうしてこんな状況なのか理解に苦しみます。  
 さあ3月は29日が県議選告示です。皆さん、3月3日(日)午後1時30分からアパローム紀ノ國で山下よしき参議院議員を迎えて演説会を開催します。ぜひ会場いっぱいにして下さるようお願いいたします。そしてフル回転で県議選と市議選へのご支援をお願いします。なんとしても和歌山市で県議2人、海南海草で1人、和歌山市議6人の勝利ですっきりして春を迎えましょう。(編集室)

### 4年間80万円の視察費は改善すべき

和歌山県議会の議員海外視察ずさん報告書が問題になっています。日本共産党県議団は以前より議会改革検討委員会にて議員一人当たり4年間で80万円の海外視察枠をあらためることを提案しています。次期議会にも送っていただき、住民のみなさんといっそう開かれた議会への改革が進むよう頑張りたいと思っています。ともに頑張りましょう。

